

石川県内の被災した地域の
状況について

二〇二四年一月一日、「令和6年能登半島地震」が発生し、多大な被害が生じました。地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に関心からお見舞い申し上げます。

「令和6年能登半島地震」は、私たちもこれまで経験したことのないような大きな地震でした。県内では、ここ三年の間に、二〇二三年五月の最大震度六を含め、能登を震源とした地震が多発していました。

石川県は南北に長い県です。今回の地震の震源は能登半島の先端部分の地域ですが、金沢市以南の地域でも、二〇二四年一月一六日現在、大きな余震が続いており、不安な日々です。

被害のとくに大きかった能登地域

は過疎化が進み、高齢者が多く住む地域で、古い建物が数多くあります。もともと公共交通が不足しており、車に頼った生活をおくっているところで、地震によって各所で道路が寸断され、物資などの輸送に支障が生じています。

児童保育に関しては、能登地域は石川県児童保育連絡協議会（以下、県連協）には未加盟で、直接的な情報把握がむずかしい状況です。ほとんどの児童保育は公営や法人運営・社会福祉協議会が運営を担っており、学校や公共施設・児童館内に施設があります。



被害の大きかった珠洲市

は児童数の減少から児童保育をなくして「放課後子供教室」に移行しています。

二〇二四年一月一八日以降、県連協事務局では、各市町の担当課や各児童保育に被害状況をうかがっています。

◇輪島市（市内の児童保育数二二か所）は、ほとんどが学校や公共施設内に施設があり、現在、それら

が避難所となっていて、学童保育の再開は見通せない状態です。

◇**羽咋市(市内の学童保育数五か所)**
では、水や電気は止まっています
が、一月九日から学童保育を再開
しました。

◇**七尾市(市内の学童保育数一八か所)**
では、一月一九日に二か所が
保育を再開するそうですが、その
後は未定とのこと。

◇**志賀町(町内の学童保育数二か所)**
では、一か所の施設が壊滅状態の
ため、小学校を含めて中学校内(未
だ断水中)へ移転し、一月二五日
より再開予定とのこと。

◇**穴水町(町内の学童保育数三か所)**
再開未定。

◇**能登町(町内の学童保育数五か所)**
再開未定。

◇**宝達志水町(町内の学童保育数二か所)**
では、一か所の学童保育施設に被害があり、もう一つの学童保育で合同保育を行っています。

◇**かほく市(市内の学童保育数二三か所)**
でも一か所が被災し、子どもたちは他学童保育へスクールバスで移動して保育しています。

◇**内灘町(町内の学童保育数六か所)**
では、一か所の施設に被害があり、他小学校内の学童保育と合同保育を行っています。

なお、津幡町(加賀地域・県連協加盟)では、当初は断水がありましたが、順次復旧しているとのこと。

一月五日に津幡町学童保育連絡協議会の会議が予定どおり開かれ、情報交換が行われました。一月九日には全クラブが開所。野々市市でも、一月四日から通常の保育を開始しています。

金沢市では、施設に亀裂が入った学童保育がありました。安全確認ができ、一月九日から保育可能となりました。そのほかは、ほぼ通常どおりの生活がおこなわれています。

未だ、道路の陥没や亀裂で通行不能か所が多く、断水地域も多くあり

ます。支援物資は受け入れ態勢が整っていないことなどから、届けるのが困難な状況です。「県の窓口以外の個人の支援物資はひかえてほしい」とのことでした。

金沢市内の『いしかわ総合スポーツセンター』(二次避難所が決まるまでの避難所。二〇一一年、第四六回全国学童保育研究集会・全体会会場)では「子ども広場」が開設され、私たちとつながりのある金沢大学の先生の呼びかけで、県連協加盟の指導員有志が、小学生の保育のためのボランティア活動に参加しています。

今後は、募金活動を進め、情報を収集しつつ、県内の学童保育の再開に向けて、どのような支援ができるのかを皆で考え、種々の課題解決、「地域連協」「各クラブ」の活動につなげていきたいと思えます。皆様のご協力をよろしく願います。

(石川県学童保育連絡協議会・

事務局長 河内久美)